



名 前：新福 莉沙さん
所 属：神戸市外国語大学外国語学部 2年
 (※参加当時)
インターン先：ニセコリアルエステート
参加プログラム：サマープログラム (5期生)

Q 1. インターン先ではどんな仕事を経験しましたか？

不動産を扱う会社で、朝は9時出勤、土日は完全休日の形で務めさせていただきました。朝はフロア、トイレ掃除、デスクワークではニセコ地域やニセコの不動産に関する新聞記事を抜き出し、英語に翻訳して会社のメンバーに共有する作業が主でした。

また、ニセコリアルエステートでは不動産以外にも、ニセコファームという農業の場も設けているので、そこでは外国から来たお客様の通訳などを経験しました。また「ニセコクラシック」という大規模な競技自転車のイベント開かれる際には外国人参加者の通訳、イベントの準備なども手伝わせていただきました。



(ニセコクラシックでのお手伝い)

Q 2. 職場の雰囲気はどうでしたか？



(建設中のコンドミニアム)

ニセコリアルエステートは外資系企業ということもあり、オーストラリア出身の社長をはじめ、基本的に職場では英語を使っていました。会社の皆さんはそれぞれ個性があり、愉快で、仕事に対して情熱的な、思いやりの溢れる人々でした。またこの会社では、ウェルカムパーティーやお別れパーティーを行うなど、メンバー1人1人の存在を大事にしていました。

会社の中は日本と海外の良い所を融合させたワークスタイルで、とても斬新。オフィスに務めたことのない私にとって、スペシャリストたちが勢ぞろいしたこの会社は、常に学びと発見の場で、自分には勿体無いくらいの中身が充実した体験でした。

Q 3. 寮、その他生活環境はどうでしたか？

下宿先は大学の自分のアパートよりも遥かに綺麗な、立派な家でした。会社からも徒歩10分くらいの距離で近く、コンビニも近くに二軒もあったので食材の買い出しに困ることもありませんでした。

また、目の前には、ヒラフエリアで有名な「グラウビュンデン」というお洒落なケーキとサンドイッチが楽しめるカフェもあったので、よくお茶していました。夏は「くっちゃんナイト号」という無料バスが運行しているので、倶知安市街まで出て、そこから小樽や札幌にも足を伸ばすことが出来ました。



(お洒落！コスバ最高！ひたすら美味しい！)

Q 4. これから応募する人に向けたアドバイスをお願いします！

「自分は海外で働いているのだろうか？」と日本にいながら、外国のワークスタイルを体験できるニセコは英語を使って働きたい人にとって最適な環境だと思います。日本には他にも外国人観光客が多く訪れる東京や京都といった都市もありますが、Shiribeshi 留学ほど、これまで学生を手厚く支援し、全てをオープンにして体験させてくれるプログラムは無いと思います。ここで見つけた仲間は今でも連絡を取るほど大切な存在です。英語はもちろん、心も頭も体も人間的にたくましく成長できるニセコは、参加者のみなさんにとって、生涯忘れられない素晴らしい経験になること間違いなしです！

☆新福さんがインターンした企業はこちら☆



会社名 (株) ニセコリアルエステート

URL www.nisekorealestate.com